学校番号	３０８

平成３１年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の音楽１（教育芸術社 出版）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱では、合唱曲だけでなく J-POP などさまざまな歌を通じて、総合的な歌う力を伸ばします。
・器楽ではキーボード、ギター等の一般的なものに取り組みますが、クラシックだけに留まらず、自分たちで弾きたいものが自由に演奏できるようにコード弾きなど、基本的なことを身につけていきます。
・鑑賞や創作活動を通じて、感じる力、また自己を表現する力を伸ばします。
音楽の授業の目標は音楽的な力を高めることですが、大切なことは他者とコミュニケーションを取りながら活動すること、感じる力を身につけることです。これらの社会に出てからも必要な力も伸ばしながら、表現する力を身につけていきましょう。

２ 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、他者と協同して演奏する喜びを感じながら、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽の表現活動の喜びを味わいながら、主体的に音楽性、技術の向上を目標に活動に取り組もうとする態度を身に付けている。	音や音楽のもつ要素を知覚し、そのよさや特質、変化など感じ取り、自己のイメージする表現内容に合わせて創意工夫する能力を身に付けている。	創造的な音楽の表現をするために必要な音色や奏法、音のつながり方や強弱などを知覚、表現する技能を身に付けている。	音楽作品などを鑑賞し、その良さや文化的価値を感じ取りながら音楽と生活との関わりに関心を持ち、創造的に味わう能力を身に付けている。
評価方法	活動の様子 ワークシート グループ活動の様子	活動の様子 ワークシート 実技テスト	活動の様子 実技テスト	活動の様子 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	豊かな声で！	【歌唱】 ・「校歌」「自治会歌」に親しみ、豊かな声量で発音よく歌う ・強弱記号を学び、区別して歌う	○		○		a:歌う喜びを味わいながら、主体的に取り組もうとしている。 c:強弱を理解して、区別して歌うことができる。	活動の様子 実技テスト
	リズムアンサンブル	【器楽】 ・スティックで机を叩き、複数名でリズムアンサンブルをする ・リズムを感じ、正確に演奏する 【創作】 ・楽曲に合わせてポーズやリズムなどを自由に創作する	○	○	○	○	a:他者と協同し、話し合いながら意欲的に取り組もうとしている。 b:楽曲の持つイメージに合わせて創造的に創作している。 c:決められたリズムを正確に演奏することができる。 d:他者の演奏を聴き、良さや工夫を感じることができる。	活動の様子 実技テスト
	ミュージカル鑑賞	【鑑賞】 ・ミュージカルの DVD を鑑賞する ・登場人物の気持ちやストーリーに合った歌を鑑賞し、感じたことをワークシートに記入する ・自分の感じた良さをグループで話し合い、共有する	○			○	a:作品の良さや工夫を感じ取ろうと意欲的に鑑賞し、主体的に他者と共有しようとしている。 d:良さや文化的価値を感じとりながら創造的に味わっている。	鑑賞の様子 グループワークの様子 ワークシート
2学期	音程を意識して！	【歌唱】 ・混声合唱を行ない、全員で一体となる喜びを感じる ・自分のパート内で音程を正確に歌う ・他パートを意識しながら創造的に歌う	○	○	○		a:合唱に関心を持ち、主体的に練習しようとしている。 b:それぞれのパートの動きを知覚し、強弱や発音を工夫して表現している。 c:他パートを意識しながら、正確に自分の音程を歌うことができる。	活動の様子 実技テスト

	ギターアンサンブル	【器楽】 ・数曲の中から好きなものを選択し、複数名でギターの弾き歌いを行なう ・正確にコードを押さえて、和音を弾く ・さまざまなリズムのストロークに親しみ、自分のイメージに合わせて演奏する	○	○	○		a:ギターに関心を持ち、主体的に練習しようとしている。 b:自分のイメージに合わせて強弱やストロークを工夫し、創造的に表現している。 c:基本的なコードをにごりのない音で演奏することができる。	活動の様子 実技テスト
	諸民族の音楽鑑賞	【鑑賞】 ・日本を含む、さまざまな国・地域の音楽を聴く ・どのような楽器が使われているかグループで話し合う ・映像を見ながら、さらに理解を深める ・文化的な価値を知る	○			○	a:良さや工夫を感じ取ろうと意欲的に鑑賞し、主体的に他者と共有しようとしている。 d:良さや文化的価値を感じとりながら創造的に味わっている。	鑑賞の様子 グループワークの様子 ワークシート
3学期	日本・世界の歌に親しむ！	【歌唱】 ・日本やドイツ、イタリアなどさまざまな国の歌を歌い、親しむ ・正しい発音で歌う ・言葉の響き、曲想の違いを感じながら歌う	○		○	○	a:楽曲に関心を持ち、主体的に練習しようとしている。 c:正確な発音で歌っている。 d:曲を聴き、発音や曲想の違いを感じ、味わっている。	活動の様子 実技テスト
	キーボードアンサンブル	【器楽】 ・キーボードでアンサンブルを行なう ・グループに分かれ、キーボードでコードを演奏する。 ・キーボードでは、さまざまなリズムパターンのコードに親しみ、自分のイメージに合わせて演奏する	○	○	○		a:キーボードに関心を持って主体的に練習し、グループで協同して一つの演奏にまとめようとしている。 b:自分のイメージに合わせて強弱やリズムを工夫し、創造的に表現している。 c:キーボードで基本的なコードを演奏することができる。	活動の様子 実技テスト

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。